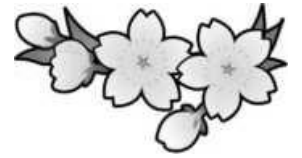


【 総合健診センターからのお知らせ 】

年に一度は「人間ドック」を受けましょう。



☆☆明るい生活は健康管理から☆☆

人間ドックや健康診断の役割の一つは、生活習慣病やその他の病気を早期に発見し、治療に結びつけることです。健康だと思っていなくても、知らない間に病気が進行していることもあります。もう一つの役割は、病気を予防し健康増進に役立てることです。人間ドックは、病気になりそうな傾向を早期に見だし、病気にならないように生活習慣を修正するためのアドバイスを行います。健康は生活の基本ですので、定期的に健康チェックを行うことをお勧めいたします。

昨年度から、バリウムが苦手な方のために、毎週水曜日限定で5名様まで胃カメラ検査ができるようになりました。是非試してみてください。※胃カメラへの変更は、感染症検査を行うため、別途2,160円料金がかかります。

① 健診日 毎週火曜日～金曜日（ただし、祝日・年末年始はお休みです）

【受付時間】午前7時40分から午前8時10分まで

② 費用 39,960円（税込み）

人間ドックを受けた方全員に、「国民宿舎両神荘」または「薬師の湯」の入浴券とお食事券（800円分、町内22店舗で利用可）をサービスいたします。

オプション検査

ピロリ抗体検査 1,730円	乳ガン検診 2,160円	子宮ガン検診 3,240円
骨密度健診 1,520円	甲状腺機能検査 4,320円	内蔵脂肪CT検査 3,240円
頸動脈エコー検査 3,240円	胸部CT検査 9,000円	HBs抗原検査 1,080円
HCV-Ⅲ抗体検査 2,160円		
腫瘍マーカー検査 4,320円（〈大腸・肺・膵臓〉〈膵臓・胆嚢〉〈肝臓・肝硬変〉の3種類セット）		
腫瘍マーカー検査 5,400円（上記に加え、前立腺・前立腺肥大※男性のみのセット）		

※各保険者によって、補助制度がある場合がありますので、加入している保険者へお問い合わせください。

（例示：小鹿野町国保の場合 25,000円補助 要申請必要）

※国保・後期高齢・協会けんぽ等の保険に加入の方で、町の補助制度をご利用の場合には、保健福祉センター内 保健課に申請してください。（問い合わせ先：保健課Tel75-0135）

③予約方法 お電話で、1週間前までにご予約ください。（定員がありますので、お早めに！！）

総合健診センターでは人間ドックの他に

◎生活習慣病予防健診 【火曜日から金曜日 全国協会けんぽ加入のご本人】

◎町民健診 【《個別健診》《胃ガン検診 第1・3土曜日》

《乳ガン・子宮頸ガン健診火曜・金曜日の午後のみ》】

◎特定（メタボ）健診 【毎週金曜日の午後のみ】

◎事業所の健康診断 【第1・3・5の水曜日と木曜日の午後 5名以上から】

◎乳ガン無料クーポン検診 【第2・4の木曜日の午後 乳腺外来で】（秩父郡市内クーポン対象者のみ）

◎秩父市乳ガン個別検診 【第2・4の木曜日の午後 乳腺外来で】（対象者のみ）

以上の内容の健診もできますので、詳しいことは健診センターにお問い合わせください。

※町では、ピロリ菌検査の助成事業も行っているため、補助を受けたい方は保健課（75-0135）にご相談ください。

※ご予約・お問い合わせ先：総合健診センター（病院内）Tel72-7510



【新任医師の紹介】

- 《総合診療科》 内田 望 先生（高知県梶原病院から）
物部芳郎 先生（飯能市名栗診療所から）
- 《婦人科》 三輪真唯子先生（埼玉医大国際医療センターから）
- 《耳鼻咽喉科》 水足邦雄 先生（防衛医大より 2月から赴任）

外来からのお知らせ

休診

- 《婦人科》：4月 1日（金） 小笠原 Dr
4月 8日（金） 小笠原 Dr
- 《眼科》：4月19日（火） 竹内 Dr



《 病院が迫られていること：地域医療構想への早急な対応 》



院長 関口 哲夫

今、病院は、2025年問題への対応が迫られています。

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になり、医療介護の必要性の増加が見込まれます。一方、人口の減少局面が進みます。10年後、小鹿野町の人口は、1万人を割り込み、秩父郡市の人口も9万人を割り込みます。このような状況を踏まえ、医療供給体制の変更が迫られています。超高齢化と人口減少に備えた計画が、ここ1、2年のうちに、作成されようとしています。その大きな柱が、①地域包括ケアシステムの推進と、②地域医療構想であります。前者は、小鹿野町に於いては、取り組みが比較的進んでおります。後者は、国の示す計算式から得られた、二次救急医療圏ごとの必要病床数と、病床機能ごとの必要病床数を基に、県主導の地域医療構想調整会議で話し合いが行われていくこととなります。

増大する医療費への対応、人口構造の変化への対応、超高齢化による医療ケアの需要の変化への対応、これらの為に、各医療圏の実情に合わせて、2025年以降の医療供給体制の再構築が求められているわけです。

秩父二次医療圏における目標値は、①必要ベッド数、600床(現在830床)、②高度急性期31床、急性期174床、回復期181床、慢性期214床、です。

問題は、①病床230床の削減と、②病床機能ごとの病棟単位での配分、です。

H27年度の各病院の報告によると、急性期362床。回復期164床。慢性期267床となっています。急性期を希望する病院が多いことを示しています。

秩父地域の病院間で、病床をどのように削減するか、難しい問題です。当院でも、病床の削減が求められます。また、どの機能を担うかで現在の業務内容の変更が迫られます。

病院の現状と今後の見通しを検討し、周辺の動向に照らし、秩父地域全体の中での立ち位置を考えて、方向性を出していかなければなりません。

機能分担することにより、どのような影響があるか、今のところはっきりしませんが、入院診療の内容に、制限が加わることが予想されます。特に、急性期の入院治療の制限、一般、療養病棟の縮小、あるいは老健への転換も見込まれます。“地域で信頼される”ため、多様なニーズに答えられるよう努めていますが、特に急性期治療の制限が懸念されます。周辺病院との協調、協力が不可欠ですが、急性期病床の確保に努めていきたいと考えます。

いずれにしろ、急性期から、回復期の方へ比重が増すことは避けがたく、早急に、しっかりしたビジョンの共有を図る必要があります。

急性期の治療、回復期のリハビリ、在宅への誘導と、在宅の支援が、病院に期待される役割です。予防活動や、介護（ケア）との連携も大切です。4月に内田望先生が赴任します。内田先生には、地域包括医療部長として、地域包括ケアシステムの一層の推進に大いに貢献していただけるものと期待しているところです。

～一言もって国を亡ぼすべきものありや、どうかならうという一言、これなり～（小栗）
非常に重要な新年度を、関係者の皆様と連携して、良いスタートを切りたいと思います。



《 病院からのお願い 》

当院は、教育病院として未来を担う研修医、医学生、看護学生など、その他医療従事者の実習を受け入れております。病院内などでお会いする事があるかと思えます。プライバシーの保護には十分注意しますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

なお、お気づきの点がありましたら病院事務局までお申し付けください。

【面会のご案内】

入院患者さんに面会される方は、必ず受付で面会受付票をご記入してください。面会時間は下記の時間帯となっております。

なお、インフルエンザやノロウイルス等感染症予防のために面会を制限させていただく場合がありますのでご了承下さい。

- 平日・土曜日
午後1時から午後8時まで
- 日曜日・祝祭日
午前10時から午後8時まで



〈発行〉 国保町立小鹿野中央病院 〒368-0105 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野300番地

電話(代表) 0494-75-2332 FAX 0494-75-3313

〈ホームページ〉 「国保町立小鹿野中央病院」で検索、または「小鹿野町」のホームページからどうぞ。